

—安心社会を支える職場・地域での連帯基盤の再構築に向けて—
経済・社会・労働の中長期ビジョンに関する研究委員会報告書

経済・社会・労働の中長期ビジョンに関する研究委員会

○学識委員： 宮本 太郎 中央大学法学部教授

篠田 徹 早稲田大学社会科学総合学術院教授

三浦 まり 上智大学法学部教授

中北 浩爾 一橋大学大学院社会学研究科教授

○連合企画委員会メンバー(主要構成組織の書記長・事務局長)

松浦昭彦 UAゼンセン書記長、川本 淳 自治労書記長、郡司典好 自動車総連事務局長、

浅沼弘一 電機連合前書記長(2014年7月まで)、野中孝泰 電機連合書記長(2014年7月～)、

宮本礼一 JAM 書記長、岡本泰良 日教組書記長、

工藤智司 基幹労連前事務局長(2014年8月まで)、神田健一 基幹労連事務局長(2015年9月～)、

早川順治 生保労連前書記長(2014年8月まで) 大長俊介 生保労連書記長(2014年9月～)、

窪田義明 JP労組書記長、春木幸裕 情報労連前書記長、川田 隆 電力総連事務局長、

黒田正和 JEC連合事務局長、小畑 明 運輸労連書記長、田野辺耕一 私鉄総連書記長、

山本健二 フード連合事務局長、森永 栄 国公連合書記長

○オブザーバー 山根正幸 連合秘書室次長

(役職は2015年8月時点)

働く者や生活者の視点から今後の経済・社会・労働のあり方、連合が掲げる「安心社会」実現に向けた課題等について検討するため、2013年7月に「経済・社会・労働の中長期ビジョンに関する研究委員会」を設置して、学識者4名と連合の主要構成組織の書記長・事務局長の参加を得て、議論を行ってきた。

このビジョン委員会では、連合が掲げる「安心社会」を職場・地域からどう実現していくべきかを中心に議論を行ってきた。特に「アソシエーション(社会組織)」「社会の連帯基盤」「地域における社会ビジョンづくりと労働組合の役割」、さらに「政治と労働組合の関係」など、「安心社会」を職場・地域から実現するプロセスと担い手づくなどについて検討を行った。

報告書は、「安心社会」実現に向け、現場(職場・地域)の第一線を担っている組合役員が、組合活動の意義・社会性について自信と確信を持って活動ができることに資する内容となるよう努めた。

目次

第Ⅰ部 安心社会を支える職場・地域での連帯基盤の再構築に向けて

第1章 安心社会を支える職場・地域での連帯基盤の再構築に向けて

第Ⅱ章 安心社会実現に向けて(4学識委員からの提起)

第1章 「安心社会のビジョンをどう活かすか」(宮本太郎 教授)

第2章 「現代の社会組織を考える」(篠田徹 教授)

第3章 「連合と『女性』—組織文化の変革に向けて—」(三浦まり 教授)

第4章 「連合と政治—地域からの再生」(中北浩爾 教授)

第Ⅲ部 安心社会実現に向け、職場・地域からどう運動を進めるか

～連合企画委員会メンバー委員(書記長、事務局長)の提案・決意～